

整形外科学

教授 吉田宗人 臨床教授 松崎交作 佐々木俊二

助教授 川上 守

講師 谷口泰徳 安藤宗治 築瀬能三 中谷如希 南出晃人

助手 中川幸洋 南 晋司 麻殖生和博

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
 - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
 - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
 - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
 - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
 - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
 - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
 - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
 - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
 - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
 - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
 - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
 - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
 - キンバック病に関する臨床的研究
 - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
 - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

著書

1. 久保俊一、山下敏彦、遠藤直人、齋藤知行、吉田宗人、小宮節郎、金谷文則、大塚隆信(編著者)：図解 整形外科，金芳堂出版，2006
2. Yoshida M : Pathology of Ossification of Ligamentum Flavum , Ossification of Posterior Longitudinal Ligament 2nd Edition, Yonenobu K, Nakamura K, Toyama Y Eds, Springer, Japan, P.49-58 , 2006
3. 松崎交作：肘関節痛の診断と治療 外傷後肘関節拘縮，関節外科(0286-5394)，25(1):42-46，2006.1
4. 岡安 勤：障害児の包括的評価法マニュアル JASPER の実践的活用法，全国肢体不自由児施設連絡協議会編集，株式会社メジカルビュー社，東京，2006
5. 谷口泰徳：ばね指、強直母指、ドケルバン病、今日の治療指針 2006 版，山口 徹、北原光夫、福井次矢編集，医学書院，東京，48：pp.761-762，2006
6. 安藤宗治、川上 守：脊髄誘発電位，整形外科診療実践ガイド，守屋秀繁編，文光堂，東京，115-117，2006
7. Nakagawa Y, Yoshida M : Posterior Extensive Cervicothoracic Laminoplasty, In Ossification of Posterior Longitudinal Ligament 2nd Edition, Yonenobu K, Nakamura K, Toyama Y Eds, Springer, Japan, P.241-248 , 2006

総説

1. 吉田宗人：頸椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術 特集：鏡視下手術の進歩，整形外科，57:1140-1147，2006
2. 吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博：腰部脊柱管狭窄症に対する保存的療法，整・災外，49(5)：589-594，2006
3. 吉田宗人：パネルディスカッション：我が国の脊椎内視鏡下手術の現況と問題点，内視鏡視下脊椎後方手術の現況と課題，日整会誌，80:857-863，2006
4. 吉田宗人：特集：脊椎鏡視下手術の適応と限界 内視鏡視下脊椎手術の適応と限界，関節外科，25(10)：16-19，2006
5. 吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博：整形外科治療におけるエビデンス-各種治療法のレビューと私の治療法-腰部脊柱管狭窄症に対する保存的療法，整・災外，49(5)：589-594，2006
6. 吉田宗人、南出晃人：MED法による頸椎手術の可能性とリスク 特集：低侵襲脊椎手術のコツと pitfall，Monthly Book Orthopaedics，19(12):7-13，2006
7. 吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、河合将紀：脊椎内視鏡手術の進歩 -内視鏡下脊椎後方法の拡大手技について，日整会誌，80(3)：S253，2006
8. 川上 守：肩こり・腰痛の臨床 これだけは知っておきたい運動器疾患9，神経根と腰痛，モダンフィジシャン，戸山芳昭、千葉一裕編，新興医学出版社，東京，26(2):257-259,2006
9. 川上 守、橋爪 洋、安藤宗治、西山涼子、吉田宗人：頸椎手術における医療事故防止対策，脊椎脊髄ジャーナル，19(4):259-274，2006
10. Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Kuribayashi K, Chubinskaya, Yoshida M : Ostogenic protein-1 (OP-1/BMP-7) injected to the nucleus pulposus attenuates pain related behavior – Safety and efficacy of epidural OP-1 application, Transaction of Orthopedic Research Society 31:1202,2006
11. Kawakami M : Degenerative spondylolisthesis with stenosis. A case discussion, InSpine 1(2):20-23,2005.
12. Oka H, Yoshimura N, Kinoshita H, Saiga A, Kawaguchi H, Nakamura K : Decreased activities of daily living and associations with bone loss among aged residents in a rural Japanese community : the Miyama Study. J Bone Miner Metab 24:307-313,2006
13. Yoshimura N, Kinoshita H, Yoshida M, Nakamura K , et al : Risk factors for knee osteoarthritis in Japanese men: a case control study. Mod Rheumatol 16:24-29,2006
14. 安藤宗治、川上 守：脊髄腫瘍の手術における術中脊髄機能モニタリングの有用性と限界，脊椎脊髄，19:33-40,2006
15. 安藤宗治、岩 博、吉田宗人：脊髄機能モニタリングの有用性と問題点，臨床脳波，48:287-292,2006
16. 安藤宗治：腰部脊柱管狭窄症の診断，日本醫事新報，4266:101,2006
17. 中川幸洋、吉田宗人：MEDによる腰部脊柱管狭窄症の除圧手術，整形外科最小侵襲手術ジャーナルNo.41; 10-15, 2006

18. 麻殖生和博、吉田宗人、貴志真也 : 腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術後のアスレチックリハビリテーション, 臨床スポーツ, 23(2):137-143, 2006
19. 麻殖生和博、吉田宗人、河合将紀、貴志真也 : 腰椎椎間板ヘルニアに対するMED法, 臨床スポーツ, 23(11):1325-1330, 2006
20. 麻殖生和博、吉田宗人 : スポーツ選手の腰部椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術, MB Orthop, 19(9):23-28, 2006

原著

1. 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、宮本 選 : 片側経腋窩進入腰椎椎体間固定術の短期成績 -腰椎後側方固定術との比較, 日本脊椎脊髄病学会雑誌, 17(1):343, 2006
2. Taniguchi Y, Yoshida M, Touge Y, Kitano T. Clinical Results of Kienböck's Disease in Elderly Patients. Rivista Di Chirurgia della Mano, 43:191,2006
3. Ishida O, Taniguchi Y, Sunagawa T, Suzuki O, Ochi M. Pollicization of the index finger for traumatic thumb amputation. Plastic and Reconstructive Surgery 117:909-914,2006.
4. 谷口泰徳、北野岳史、吉田宗人、生田義和、津下健哉 : 母指化術による欠損母指再建, 日本マイクロ会誌, 19 : 120-125,2006
5. 谷口泰徳、西 秀人、岩田勝栄、北野岳史、吉田宗人 : 足底皮膚軟部組織欠損に対する再建術の治療成績, 中部整災誌, 49 : 391-392, 2006
6. 谷口泰徳、平野三好、岩田勝栄、北野岳史、吉田宗人 : 上肢軟部組織欠損の遊離皮弁による治療, 中部整災誌, 49:659-660, 2006
7. 石田 治、鈴木 修、谷口泰徳、越智光夫 : 外傷性母指切断に対する示指による母指化術, 日整会誌, S334,2006
8. 安藤宗治、延與良夫、岡田基宏、野村和教、中川幸洋、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人、筒井俊二、山田 宏、岩 博、玉置哲也 : 脊髄重傷手術における術中脊髄機能モニタリングの検討, 臨床整形, 41:405-413,2006
9. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、野村和教、岡田基宏、延與良夫、吉田宗人、玉置哲也 : 感覚神経活動電位を利用した腰椎椎間孔部狭窄症の診断の有用性と限界, 末梢神経, 17:58-66,2006
10. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基弘、吉田宗人 : 腰椎椎間孔部狭窄症の診断法の比較, 日整会誌, 80(3): S394, 2006
11. 安藤宗治、遠藤 徹、延與良夫、岡田基宏、麻殖生和博、岩崎 博、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人、玉置哲也 : 脊髄腫瘍の手術における術中脊髄機能モニタリング波形の分析, 日本脊椎脊髄病学会雑誌, 17(1): 237, 2006
12. 安藤宗治、遠藤 徹、延與良夫、岡田基宏、麻殖生和博、松本卓二、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人 : 感覚神経活動電位を指標とした腰椎椎間孔部狭窄症の診断に関する前向き研究-各種画像検査との比較, 日本脊椎脊髄病学会雑誌 17(1): 219, 2006
13. 山田 宏 : 術後退院指導と外来フォロー時の看護のポイント, 整外看, 11(7) : 36-39, 2006
14. 山田 宏、高見正成、筒井俊二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、中川幸洋、玉置哲也 : 頸髄症患者における末梢神経幹電気刺激による10秒テストの変化の特性について, 脊髄機能診断学, 28 : 86-90, 2006
15. 中谷如希、吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博、中尾慎一 : ナビゲーションシステムを用いた腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入鏡視下開窓術, 脊椎・脊髄神経手術手技, 8(1):61-64, 2006
16. 中谷如希、吉田宗人、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博 : ナビゲーションシステムを用いた腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入脊椎内視鏡手術, 中部整災誌, 49(2): 383-384, 2006.
17. 中谷如希、吉田宗人、川上 守、南出晃人、麻殖生和博、中尾慎一 : 腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入内視鏡視下手術におけるナビゲーションシステムの精度, 日脊椎脊髄病会誌, 17(1): 423, 2006.
18. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人 : 腰椎変性すべり症における矢状面バランス, 中部整災誌, 49(1): 87-88, 2006
19. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一 : 環軸椎の不安定性に対するハローベストの固定性について, 日整会誌, 80(3): S80, 2006
20. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一

一：腰椎変性すべり症手術における矢状面バランスの意義，日整会誌，80(3): S394, 2006

21. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、毛保浩明、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一、遠藤 徹：矢状面バランスから見た腰椎変性すべり症の手術成績，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 121, 2006
22. 松本卓二、川上 守、吉田宗人、安藤宗治、玉置哲也：頸椎後側彎変形を伴う四肢麻痺を呈した neurofibromatosis type 1 の1例，臨床整形外科(0557-0433)，41(3)：307-312，2006.3
23. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、川崎貞男、篠崎正博：ドクターヘリにて院外心肺停止状態から救命し得た特殊な幼児頸髄損傷の1例，中部整災誌(0008-9443)，49(4)：687-688，2006.7
24. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治：後方支持組織温存脊柱管拡大術後の切離した第7頸椎棘突起の移動と軸性疼痛，整形外科(0030-5901)，57(10)：1398-1400，2006.9
25. 松本卓二、川上 守、吉田宗人、川崎貞男、篠崎正博：ドクターヘリをもちいた脊髄損傷患者に対するプレホスピタルケアについて，中部整災誌(0008-9443)，49(3)：611-612，2006.5
26. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対してフックを併用した脊椎後方短縮術についての検討(フックを用いない脊椎後方短縮術との後彎角及び合併症の比較)，日脊椎脊髄病会誌(1346-4876)，17(1, 2/2)：441，2006.3
27. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、川崎貞男、篠崎正博：脊髄損傷患者に対するプレホスピタルケアとしてのドクターヘリの有用性，日本外傷学会雑誌(1340-6264)，20(2)：190，2006.4
28. 松本卓二、川上 守、安藤宗治、篠崎正博、吉田宗人：まれな脊椎疾患の症例報告 ドクターヘリにて院外心肺停止状態から救命し得た特殊な幼児頸髄損傷の1例，中部整災誌(0008-9443)，49 卷春季学会：54，2006.3
29. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Yamasaki S, Kojima H, Hashizume H, Abe T, Boden SD. The effects of bone morphogenetic protein and basic fibroblast growth factor on cultured mesenchymal stem cells for spine fusion. Transaction of Orthopaedic Research 31: 2006.
30. 南出晃人、吉田宗人、中川幸洋、延與良夫、岡田基宏：腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入脊椎内視鏡下手術後の不安定性について，中部整災誌，49(1): 181-182, 2006.
31. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、毛保浩明：頸髓症に対する頸部脊柱管拡大術の従来法と後方侵入内視鏡下除圧術の比較検討，日整会誌，80(3): S79, 2006
32. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、遠藤 徹、毛保浩明：頸髓症に対する新たな手術方法 頸椎後方侵入内視鏡下除圧術の手術成績，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 508, 2006
33. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、遠藤 徹：腰椎変性すべり症に対する除圧術単独での術後不安定性悪化要因について，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 195, 2006
34. Nakagawa Y, Yoshida M, Maio K: Microendoscopic discectomy(MED) for surgical management of lumbar disc disease: technical note, The Internet Journal of Spine Surgery, vol2, no 2, 2006
35. Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Maio K, Enyo Y, Okada M: Posterior endoscopic surgery for lumbar disc herniation with contralateral symptoms -A report of two cases-, Minimally Invasive Neurosurgery ; 49: 282-285, 2006
36. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、南出晃人、中川幸洋：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術，中部整災誌，49(1): 35-36, 2006
37. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、延與良夫、岡田基宏、河合将紀：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下片側進入両側除圧術の治療成績，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 226, 2006
38. 坂田亮介、佐々木俊二、本田高幹、松浦伸一、岩田勝栄：ネイル折損をきたした大腿骨転子部骨折の2例，中部整災誌(0008-9443)，49(1)：127-128，2006.1
39. 田村睦弘、山岸正明、岩波明生、相川大介、福田健太郎、野村和教、河野 仁、須田義朗、塩田匡宣、町田正文、斉藤正史：結核性脊椎炎に対する再手術症例の検討，日脊椎脊髄病会誌，17(1):106, 2006
40. 河野 仁、町田正文、岩波明生、相川大介、福田健太郎、野村和教、田村睦弘、須田義朗、塩田匡宣、斉藤正史、山岸正

明：松果体摘出側弯モデルにおける頂椎の微細構造について：micro CT を用いた 3 次元的解析，日脊椎脊髄病会誌，17(1):545,2006

41. 高見正成、佐々木俊二、山田 宏、北野陽二、坂田亮介、本田高幹：椎間孔部から発生し硬膜管背側及び脊柱管外へ脱出した腰椎椎間板ヘルニアの 1 例，脊椎脊髄ジャーナル，19(8)：891-893，2006
42. 高見正成、佐々木俊二、山田 宏、窪田誠治、土井順博、湯田啓之、松本朋子、北野陽二、坂田亮介、玉置哲也：手術的治療により早期スポーツ復帰が可能となった上前腸骨棘裂離骨折の 1 例，和歌山医学,58(1)
43. 中根康博、岩崎一夫、築瀬能三、角谷英樹、吉田宗人：当科における人工膝単顆置換術(UKA)の短期成績，中部整災誌，49(3)：489-490，2006.5
44. 中根康博、長雄好昭、築瀬能三：THA component 設置における術中 alignment guide の有用性，Hip Joint vol.32：423-427,2006
45. 納田和博、中塚映政、西 秀人、宮崎展行、武田大輔、園部秀樹、吉田宗人：脊髄前角細胞と後角細胞における虚血耐久性の比較，脊髄機能診断学，27(1)：4-10，2005
46. 宮崎展行、川上 守、田畑 孝：骨端線閉鎖前下腿骨幹部骨折に対する MIPO 法の治療経験，中部整災誌，49(5):p853-854，2006
47. 宮崎展行、川上 守、田畑 孝、中村了生：脛骨骨折に対するアトカルプレートを用いた MIPO 法の治療経験，中部整災誌，49(3)：537-538，2006
48. 宮崎展行、中塚映政、西 秀人、園部秀樹、納田和博、吉田宗人：脊髄前角細胞におけるアデノシン A_{2a} 受容体の作用機序，日整会誌，80(8):S914，2006
49. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人：胸腰椎破裂骨折に対する ligamentotaxis による整復，後方固定術の術後成績，中部整災誌(0008-9443)，49(1)：77-78，2006.1
50. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、中尾慎一：腰椎手術患者における術後 10 年以上の長期成績 SF-36 を用いた QOL の評価，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 123, 2006
51. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、延與良夫：圧迫性頸髄症に対する脊柱管拡大術の前向き研究 -観音開き式と片開き式の比較，日整会誌，80(3): S74, 2006
52. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、遠藤 徹、中尾慎一：圧迫性頸髄症に対する脊柱管拡大術の前向き研究 観音開き式と片開き式の比較，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 493, 2006
53. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、遠藤 徹：腰痛疾患の手術的治療に対する患者期待感 術前因子の検討，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 297, 2006
54. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基弘：頸部脊髄症に対する前方法と後方法の手術成績の検討，日脊椎脊髄病会誌，17(1): 478, 2006
55. 宮本 選、谷口泰徳、岩田勝栄、峰 巨、吉田宗人：副神経に発生した神経鞘腫の 1 例，中部整災誌，49(2)：323-324，2006
56. 北野岳史、谷口泰徳、峠 康、吉田宗人、武用泰輔：多発性骨髄腫に合併した amyloidoma による後骨間神経麻痺の 1 例，中部整災誌，49：325-326，2006
57. 北野岳史、谷口泰徳、岩田勝栄、吉田宗人、平野三好：陳旧性月状骨脱臼に対して月状骨摘出術を行った 2 例，中部整災誌，49：837-838，2006
58. 北野岳史、谷口泰徳、大浦晴夫、南 晋司、岩田勝栄、吉田宗人、中村正亨：血管柄付き腓骨頭移植を行った橈骨遠位部骨肉腫の 1 例，日本マイクロ会誌，19：226,2006
59. 北野岳史、谷口泰徳、吉田宗人：多発性骨髄腫に合併した amyloidoma による後骨間神経麻痺の 1 例，日肘関節会誌，13(2)：161-162，2006.12
60. 浅井宣樹、青木 克、谷端友紀、梁瀬能三、谷口泰徳、吉田宗人：カルシウム結晶沈着により再発した手根管症候群の 1 例，中部整災誌，49：984，2006

その他の論文

1. 佐々木俊二:アンチエイジングのツボ 辛い痛みを撃退！変形性膝関節症, 和歌山リビング新聞社 月刊 let(16),2006.12
2. 松本卓二:診療科紹介「整形外科」, はしもと市民病院だより 15:2, 2006
3. 河合将紀:椎体後方終板障害に対するMED法, 臨床スポーツ医学, 23(11):1331-1336, 2006
4. 河合将紀:脊椎内視鏡手術(MED), 臨床スポーツ医学, 23(臨時増刊号):281-287, 2006
5. 河野 仁、町田正文、岩波明生、相川大介、福田健太郎、野村和教、田村睦弘、須田義朗、塩田匡宣、斉藤正史、山岸正明:松果体摘出側弯モデルにおける頂椎の微細構造について: micro CT を用いた3次元解析, 日脊椎脊髄病会誌, 17(1):545,2006

学会報告

a) 国際学会

[受賞]

1. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Hashizume H, Okada M, Enyo Y, Boden SD. Medtronic Sofamor Danek Research Award in Spine Across the Sea meeting jointly sponsored by the North American Spine Society and the Japanese Spine Research Society, 2006. Title: Effects of Bone Morphogenetic Protein and Basic Fibroblast Growth Factor on Cultured Mesenchymal Stem Cells for Lumbar Spine Fusion.

[発表]

1. Yoshida M: Endoscopic decompression using high speed drill for lumbar canal stenosis , ISMISS/SICOT International 24th Course , Zurich-Switzerland , January 26-27, 2006
2. Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Kuribayashi K, Chubinskaya S, Yoshida M : Osteogenic protein-1 (OP-1/BMP-7) injected to the nucleus pulposus attenuates pain related behavior – Safety and efficacy of epidural OP-1 application, 52th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, 2006.3.19- 22 於 Chicago, IL
3. Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Endo T, Yoshida M : Safety and efficacy of epidural administration of osteogenic protein –1 (OP-1/BMP-7) in a hemiated nucleus pulposus model, International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2006.6.13- 17 於 Bergen, Norway
4. Kawakami M, Yoshida M, Ando M, Hashizume H, Matsumoto T, Nakagawa Y, Minamide A, Maio K, Radiological changes of redundant nerve roots in dynamic myelography influences surgical outcomes in patients with neurogenic intermittent claudication, International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2006.6.13- 17 於 Bergen, Norway
5. Kawakami M, Yoshida M, Ando M, Hashizume H, Matsumoto T, Nakagawa Y, Minamide A, Maio K, Relationships between radiological changes of redundant nerve roots in dynamic myelography and surgical outcomes in patients with neurogenic intermittent claudication., Spine Across the Sea 2006, 2006.7.23- 27 於 Maui, Hawaii
6. Taniguchi Y, Kitano T, Yoshida M, Tsuge K, Ikuta Y: Pollicization after amputation of the thumb. 16th China-Japan Joint Meeting on Plastic Surgery. August 25-28, 2006 Harbin China
7. Taniguchi Y, Yoshida M, Touge Y, Kitano T: Clinical Results of Kienböck's Disease in Elderly Patients. 2nd Italian-Japanese Combined Meeting of Hand Surgery October 13, 2006, Milano Italy
8. Ando M, Kawakami M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K, Enyo Y, Okada M, Yoshida M: A prospective study on the reliability of sensory nerve action potential as a diagnostic tool for lumbar foraminal stenosis-A comparison with imaging studies. The international society for the study of the lumbar spine, 2006.6. Bergen
9. Nakatani N, Yoshida M, Kawakami M, Nakagawa Y, Minamide A, Otakara H : The accuracy of a computer-assisted navigation system in microendoscopic laminotomy for patients with lumbar spinal canal stenosis. CAOS International (Montreal), June 22, 2006
10. Hashizume H, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Yamada H, Matsumoto T, Nakagawa Y, Minamide A, Maio K, Okada M, Enyo Y. Lumbar sagittal balance influences the low back pain after decompression and posterolateral spinal fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis 33rd Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 13- 17, 2006, Bergen, Norway.
11. Hashizume H, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Matsumoto T, Nakagawa Y, Minamide A, Mio K, Okada M, Enyo Y. Lumbar sagittal balance influences the low back pain after decompression and posterolateral spinal fusion for degenerative lumbar spondylolisthesis. Spine Across the Sea Meeting of the North

American Spine Society. July 23-27, 2006, Maui, Hawaii, USA.

12. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Yamasaki S, Kojima H, Hashizume H, Abe T, Boden SD. The effects of bone morphogenetic protein and basic fibroblast growth factor on cultured mesenchymal stem cells for spine fusion. 51th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society. March 19-22, 2006, Chicago, Illinois, USA.
13. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Enyo Y, Okada M, Maio K, Ando M, Hashizume H, Nakagawa Y. A factor affected to spinal instability after spinal decompression without fusion for lumbar degenerative spondylolithesis. 33rd Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 13- 17, 2006, Bergen, Norway.
14. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Hashizume H, Okada M, Enyo Y, Boden SD. The Effects of Bone Morphogenetic Protein and Basic Fibroblast Growth Factor on Cultured Mesenchymal Stem Cells for Lumbar Spine Fusion. Spine Across the Sea. July 23-27, 2006, Maui, Hawaii, USA.
15. Minamide A, Yoshida M, Nakagawa Y, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Maio K, Enyo Y, Okada M. A Comparative Study between Conventional Expansive Laminoplasty and Microendoscopic Laminotomy for Cervical Myelopathy. Spine Across the Sea Meeting of the North American Spine Society. July 23-27, 2006, Maui, Hawaii, USA.
16. Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Nakagawa Y, Maio K, Enyo Y, Okada M. A prospective comparative study between conventional expansive laminoplasty and microendoscopic laminoplasty for cervical myelopathy. 6th Annual Meeting of Pacific and Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery. August 17-19, 2006, Pingtung, Taiwan.
17. Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Minamide A, Maio K, Enyo Y, Okada M: Posterior microendoscopic lumbar decompressive laminotomy for lumbar canal stenosis, NASS Spine Across The Sea 2006, July 23-27, 2006, Maui.
18. Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Minamide A, Maio K, Enyo Y, Masaki Kawai, Nakaima N: Microendoscopic surgery for lumbosacral nerve root anomalies, The 6th Pacific Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2006. 8. 17-20, Kenting, Taiwan.
19. Kawai M , Yoshida M , Nakagawa Y , maio K , Hashizume H , Nakao S , Endo T : Microendoscopic Nerve Root Decompression in Patient with Spondylolysis, H18.8.17-19 6th PASMIS in Kenting
20. Maio K, Yoshida M, Kawakami M, Andou M, Minamide A, Nakagawa Y, En-yo Y, Okada M, Endou T, Nakao S : Clinical Results of Microendoscopic Unilateral Approach for Bilateral Decompression of Lumbar Spinal Canal Stenosis , 2006.6 ISSLS Norway
21. Maio K, Yoshida M, Kawakami M, Andou M, Minamide A, Nakagawa Y, Kawai M : Clinical results of microendoscopic surgery for severe degenerative lumbar scoliosis, 2006.8 PASMIS Taiwan
22. Maio K, Yoshida M, Kawakami M, Andou M, Minamide A, Nakagawa Y, En-yo Y, Okada M, Endou T, Nakao S : Clinical results of microendoscopic decompression for lumbar spinal canal stenosis, 006.10 9th French-Japanese Combined Orthopaedic Congress. Kyoto, Japan
23. Nohda K, Nakatsuka T, Takeda D, Nishi H, Sonobe H, Miyazaki N , Kawakami M, Yoshida M : COMPARISON OF VULNERABILITY BY IN VITRO ISCHEMIA IN VENTRAL AND DORSAL HORN NEURONS OF THE RAT SPINAL CORD, The 52nd Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society(2006.3.18-22, CHICAGO)
24. Nohda K, Takeda D, Miyazaki N, Nishi H, Sonobe H, Yoshida M, Nakatsuka T : Selective vulnerability to ischemia in the rat spinal motoneurons. 36nd Annual Meeting of Society for Neuroscience, 2006.10, Atlanta
25. Nohda K, Takeda D, Miyazaki N, Nishi H, Sonobe H, Yoshida M, Nakatsuka T : Selective vulnerability to ischemia in the rat spinal motoneurons. 36th Annual Meeting of Society for Neuroscience (Atlanta) 2006.10.14-18.
26. Miyazaki N, Nakatsuka T, Takeda D, Nishi H, Sonobe H, Nohda K, Kawakami M, Yoshida M : A CELLULAR MECHANISM OF ADENOSINE-INDUCED NEUROPROTECTIVE ACTIONS IN SPINAL VENTRAL HORN NEURONS, The 52nd Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society(2006.3.18-22, CHICAGO)
27. Miyazaki N, Takeda D, Nohda K, Nishi H, Sonobe H, Yoshida M, Nakatsuka T : Adenosine-induced neuroprotective actions in the rat motoneurons by the activation of A1 receptors. 36th Annual Meeting of Society for Neuroscience (Atlanta) 2006.10.14-18.
28. Enyo Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K, Okada M, Endo T, Nakao S : The long-term outcome in patients treated with lumbar spine surgery The annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. Bergen in Norway, 2006.4.

29. Enyo Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K, Okada M, Surgical Results of Cervical Spondylotic Amyotrophy Spine Across the Sea 2006 (oral) Maui in Hawaii
30. Okada M, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Mio K, Enyo Y. The influence of diabetes mellitus to the outcome of surgical treatment for cervical myelopathy. Spine Across the Sea Meeting of the North American Spine Society. July 23-27, 2006, Maui, Hawaii, USA.
31. Okada M, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Mio K, Enyo Y. A prospective comparative study between expansive open-door laminoplasty and expansive French-door laminoplasty for cervical myelopathy. Spine Across the Sea Meeting of the North American Spine Society. July 23-27, 2006, Maui, Hawaii, USA.
32. Okada M; Yoshida M, Mamoru M, Ando M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y, Maio K. A Prospective Randomized Comparative Study of Clinical Outcomes in Patients with Cervical Compressive Myelopathy Treated with Expansive Open-door or French-door Laminoplasty. 34th Annual Meeting of Cervical Spine Research Society. November 30-December 2, 2006, Florida, USA.

b) シンポジウム, 学術講演等

[シンポジウム]

1. Yoshida M: Endoscopic decompression using high speed drill for lumbar spinal canal stenosis JOA- KOA 合同シンポジウム3, Current Status of Spinal Surgery, Yokohama, Japan, May 18-21, 2006
2. 吉田宗人: 腰痛選手のスポーツ復帰への目安 腰椎椎間板ヘルニア(手術例) Combine Congress of JOAKAS 2006, 2006.6, 沖縄県
3. 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 麻殖生和博, 河合将紀: 脊椎内視鏡手術の進歩 -内視鏡下脊椎後方法の拡大手技について, 第79回日本整形外科学会学術総会, 2006.5.18-21, 横浜市
4. 谷口泰徳, 北野岳史, 下江隆司, 浅井宣樹, 安藤宗治, 吉田宗人: 肘部管症候群に対する小皮切による単純神経除圧術, 第12回日本最小侵襲整形外科学, 2006.12, 和歌山市
5. 安藤宗治, 中川幸洋, 野村和教, 延與良夫, 岡田基宏, 遠藤 徹, 中尾慎一, 吉田宗人, 玉置哲也: 感覚神経活動電位を用いた腰椎椎間孔部狭窄症の診断の精度における前向き研究, 第36回日本臨床神経生理学学会, 2006.11, 東京
6. 安藤宗治: 感覚神経活動電位を用いた腰椎椎間孔部狭窄症の診断, 第36回日本臨床神経生理学学会, 2006.11, 横浜
7. 南出晃人, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 中川幸洋, 麻殖生和博, 延與良夫, 岡田基宏, 遠藤 徹: LCS: 固定を必要とする根拠; 腰椎変性すべり症に対する除圧術単独での術後不安定性悪化要因について, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
8. Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Minamide A, Maio K, Kawai M, Enyo Y, Okada M: -Sports injuries in Spine - Microendoscopic Discectomy (MED) for Lumbar Disc Hemiation and Posterior Vertebral Endplate Lesion in Young Athletes, NASS Spine Across The Sea 2006, July 23-27, 2006, Maui.

[学術講演]

1. 吉田宗人: 腰部脊柱管狭窄症の自然経過からみた治療法の選択, 大阪市市整学会学術講演会, 2006.3, 大阪市
2. 吉田宗人: 腰部脊柱管狭窄症の病態と内視鏡下手術, 琉球大学整形外科学学術講演会, 2006.5, 那覇市
3. 吉田宗人: 椎間板ヘルニアに対する内視鏡視下手術—早期スポーツ復帰を目指して—, 奈良学術文化講演会, 2006.6, 奈良
4. 吉田宗人: 内視鏡下脊椎後方手術—その現状と展望— 神戸大学整形外科同門会開講記念, 学術講演会, 2006.6, 神戸市
5. 吉田宗人: 腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊柱管狭窄症-診断と後方進入腰椎内視鏡下手術-, 第11回「目で見る整形外科」東京コロキウム, 2006.10, 東京都
6. 吉田宗人: 腰部神経根障害の病態と内視鏡的アプローチ, 富山県整形外科医会学術講演会, 2006.12, 富山市
7. 吉田宗人: 腰部脊柱管狭窄症の病態と内視鏡下手術, 第161回三金会・長崎手の外科合同講演会, 2006.12
8. Kawakami M, Biological manipulation with intradiscal injection of OP-1 for degenerative disc disease., Meeting with Stryker Biotech and Wakayama Medical University, 2006.3.22 於 Chicago, IL
9. 川上 守: 腰痛・下肢痛患者の診断と治療, 平成18年度第1回伊都医師会学術講演会, 2006.5.27, 橋本市
10. 川上 守: 腰痛に対する最近の考え方と治療の最前線, 第26回海南市住民センター文化講演会, 2006.2.19, 海南市
11. 川上 守: 変性椎間板の再生と疼痛の制御, 第173回大阪臨床整形外科学会学術講演会, 2006.8.26, 大阪市

12. Kawakami M, Adolescent Idiopathic Scoliosis – Aetiology, classification, prognosis 12th AO Interactive Spine Course Tokyo, 2005. 10.12-14, Tokyo
13. Kawakami M, Case Presentation: Adolescent idiopathic scoliosis, 12th AO Interactive Spine Course Tokyo, 2005. 10.12- 14, Tokyo
14. Kawakami M, Representation: Adolescent idiopathic scoliosis, Question & Discussion, 12th AO Interactive Spine Course Tokyo, 2005. 10.12-14, Tokyo
15. Kawakami M, Case Presentation: Upper cervical lesion, 12th AO Interactive Spine Course Tokyo, 2005. 10.12- 14, Tokyo
16. Kawakami M, Representation: Upper cervical lesion, Question & Discussion, 12th AO Interactive Spine Course Tokyo, 2005. 10.12-14, Tokyo
17. 谷口泰徳：医原性末梢神経損傷,第 85 回和歌山臨床整形外科医会春期研修会,2006.6.10,和歌山市
18. 安藤宗治：腰部脊柱管狭窄症の診断・治療と pit fall, 第 86 回和歌山臨床整形外科医会学術講演会, 2006.9, 和歌山
19. 築瀬能三：肩の痛み—その原因と治療—[各論], 骨と関節の日、市民講座, 2006.10.1, 和歌山
20. 山田 宏：failed back surgery syndrome の発生を予防するための脊髄神経根の画像診断, 第 41 回日本脊髄障害医学会, 2006.11, 千葉
[パネルディスカッション]
1. 吉田宗人：脊椎内視鏡手術の実際：腰椎後方除圧術, 第 106 回中部日本整形外科災害外科学会, 2006.4, 大阪市
2. 谷口泰徳、吉田宗人：上肢軟部組織欠損の遊離皮弁による治療,第 106 回中部日本整形災害外科学会,2006.4.7,大阪市

c) 全国学会

1. 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、宮本 選：片側経腋窩進入腰椎椎間固定術の短期成績—腰椎後側方固定術との比較, 第 35 回日本脊椎脊髄病学会, 2006. 4.21-22, 東京
2. 谷口泰徳、北野岳史、岩田勝栄、吉田宗人、上石弘：足底部皮膚軟部組織欠損に対する再建術の治療成績, 第 49 回日本形成外科学会,2006.4.14, 岡山市
3. 石田 治、鈴木 修、谷口泰徳、越智光夫：外傷性母指切断に対する示指による母指化術,第 79 回日本整形外科学会,2006.5.19, 横浜市
4. 谷口泰徳、北野岳史、下江隆司、吉田宗人：膝関節部皮膚軟部組織欠損の遊離広背筋皮弁移植による治療経験, 第 33 回日本マイクロサージャリー学会,2006.1.27, 奈良市
5. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、岩 博、岡田基宏、延與良夫、遠藤 徹、吉田宗人、玉置哲也：脊髄内腫瘍の手術における術中脊髄機能モニタリング波形の分析, 第 35 回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4, 東京
6. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、松本卓二、麻殖生和博、岡田基宏、延與良夫、遠藤 徹、吉田宗人：SNAP を用いた腰椎椎間孔部狭窄症の診断精度に対する前向き研究および画像検査との比較, 第 35 回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4, 東京
7. 安藤宗治、遠藤 徹、延與良夫、岡田基宏、麻殖生和博、岩崎 博、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人、玉置哲也：脊髄内腫瘍の手術における術中脊髄機能モニタリング波形の分析, 第 35 回日本脊椎脊髄病学会, 2006. 4.21-22, 東京
8. 安藤宗治、川上 守、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、遠藤 徹、延與良夫、岡田基弘、吉田宗人：腰椎間孔部狭窄症の診断法の比較, 第 79 回日本整形外科学会, 2006.5, 横浜
9. 安藤宗治、中川幸洋、延與良夫、吉田宗人、毛保浩明：腰椎椎間孔部狭窄症に対する電気診断の精度—画像診断との比較における前向き研究—, 第 43 回日本リハビリテーション医学会, 2005.6, 東京
10. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、延與良夫、遠藤 徹、吉田宗人：学生実習用屍体を用いた第 5 腰神経根の解剖学的検討, 第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2006.10, 長崎
11. 安藤宗治、遠藤 徹、延與良夫、岡田基宏、麻殖生和博、松本卓二、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人：感覚神経活動電位を指標にした腰椎椎間孔部狭窄症の診断に関する前向き研究—各種画像検査との比較, 第 35 回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
12. 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基弘、吉田宗人：腰椎椎間孔部狭窄症の診断法の比較, 第 79 回日本整形外科学会学術総会, 2006.6.5.18-21, 横浜
13. 築瀬能三、中根康博、長雄好昭、吉田宗人：肩腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術の治療成績, 第 3 2 回日本関節鏡学会, 2006.6, 沖縄
14. 築瀬能三、中根康博、大宝英矢、谷端友紀、吉田宗人：肩腱板断裂に対する手術成績の検討, 第 3 3 回日本関節鏡学会, 2006.9.30, 東京
15. 築瀬能三、中根康博、山口耕史、青木 克、大宝英矢、谷端友紀、吉田宗人：肩腱板断裂に対する手術成績の検討, 第 1 2 回日本最小侵襲整形外科学会, 2006.12.3, 和歌山
16. 山田 宏、高見正成、筒井俊二、西山大介、川上 守、吉田宗人、玉置哲也：周術期の 10 秒テストの変化からみた頸髄症患者の術後予後

予測, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.6, 東京

17. 中谷如希、吉田宗人、川上 守、南出晃人、麻殖生和博、中尾慎一：腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入内視鏡視下手術におけるナビゲーションシステムの精度, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
18. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、毛保浩明、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一、遠藤 徹：矢状面バランスから見た腰椎変性すべり症の手術成績, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
19. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一：腰椎変性すべり症手術における矢状面バランスの意義, 第79回日本整形外科学会学術総会, 2006.5.18-21, 横浜
20. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一：環軸椎の不安定性に対するハローベストの固定性について, 第79回日本整形外科学会学術総会, 2006.5.18-21, 横浜
21. 峠 康、谷口泰徳、吉田宗人、佐々木緑、田島文博：透析患者の手指屈曲時における手根管部正中神経側方移動に関する検討, 日本手の外科学会, 2006.4, 浜松
22. 峠 康、直川貴子、中村 健、佐々木緑、石田和也、田島文博：手指屈曲時の手根管部における正中神経の側方移動に関する検討, 日本リハビリテーション医学会, 2006.6, 東京
23. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対してフックを併用した脊椎後方短縮術についての検討（フックを用いない脊椎後方短縮術との後弯角及び合併症の比較）, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
24. 松本卓二、吉田宗人、川上 守、川崎貞男、篠崎正博：脊髄損傷患者に対するプレホスピタルケアとしてのドクターヘリの有用性, 第20回日本外傷学会, 2006.5.25-26, 名古屋
25. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、遠藤 徹、毛保浩明：頸髄症に対する新たな手術方法 頸椎後方侵入内視鏡下除圧術の手術成績, 第35回日本脊椎脊髄病学会, 2006.4.21-22, 東京
26. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、毛保浩明：頸髄症に対する頸部脊柱管拡大術の従来法と後方侵入内視鏡下除圧術の比較検討, 第79回日本整形外科学会学術総会, 2006.5.18-21, 横浜
27. 南出晃人、吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博、川上 守、安藤宗治、中谷如希：腰部椎間孔外狭窄に対する後方進入内視鏡下手術におけるナビゲーションシステムの有用性, 第9回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会, 2006.11.11, 東京
28. 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、河合将紀、仲井間憲彦：腰仙部神経根奇形手術への脊椎内視鏡の応用, 第13回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会, 2006.9.22-23, 東京
29. 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、麻殖生和博、河合将紀、岡田基弘：頸椎黄色靭帯石灰化症に対する内視鏡下除圧術, 第9回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会, 2006.11.11, 東京
30. 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、麻殖生和博、河合将紀、延與良夫、岡田基弘、遠藤 徹、中尾慎一：頸椎神経根症に対する後方内視鏡下椎間孔拡大術, 第12回日本最小侵襲整形外科学会, 2006.12.2-3, 和歌山市
31. 南 晋司、山崎 悟、勝田紘史、木下裕文：ガンマーネイル後の二次的大腿骨骨折症例の治療成績, 第43回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2006.6.1-3, 東京
32. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、延與良夫、岡田基弘、河合将紀：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下片側進入両側除圧術の治療成績, 第35回日本脊椎脊髄外科学会, 2006.4.21-22, 東京都
33. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中谷如希、中川幸洋、南出晃人、延與良夫、岡田基宏、遠藤徹、中尾慎一：内視鏡下除圧術を施行した腰部脊柱管狭窄症患者のスポーツ・レクリエーション活動について, 日本整形外科スポーツ医学会, 2006.6.8-10, 那覇
34. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、河合将紀、延與良夫、岡田基弘、遠藤 徹、中尾慎一：腰椎変性側弯症に対する内視鏡下除圧術, 日本脊椎脊髄神経手術手技学会, 2006.9, 東京都
35. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、河合将紀、延與良夫、岡田基弘、遠藤 徹、中尾慎一：腰椎変性側弯症に対する内視鏡下除圧術, 日本内視鏡最小侵襲脊椎外科学会, 2006.11, 東京都
36. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋：腰椎変性側弯症に対する内視鏡下除圧術の治療成績, 第9回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会, 2006.11.11, 東京

37. 山口耕史、大宝英矢、築瀬能三、中谷如希、南 晋司、谷端友紀、吉田宗人：人工股関節の可動域に対するオフセットと脚延長の影響 ～ S-ROM-A TOTAL HIP SYSTEM を用いて～、第33回日本股関節学会、2006.10.27-28 於、東京
38. 筒井俊二、林 未統、西 秀人、舟津稔博、西山大介、山田 宏、吉田宗人：骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折の診断における座位単純X線側面像の検討、第35回日本脊椎脊髄病学会、2006.4.21-22、東京
39. Takeda D, Miyazaki N, Sonobe H, Yoshida M, Nakatsuka T : Adenosine-induced neuroprotective actions in ventral horn neurons of the rat spinal cord. The 83rd Annual Meeting of the Physiological Society of Japan(, 2006,3,28-30, Maebashi) J. Physiol. Sci. 56 (Suppl.): S246
40. 宮崎展行、中塚映政、西 秀人、園部秀樹、納田和博、吉田宗人：脊髄前角細胞におけるアデノシン A_{2a} 受容体の作用機序、第21回日本整形外科基礎学術集会、2006.10.19-20、長崎市
41. 宮崎展行、川上 守、岩崎 博、吉田宗人：前腕骨骨幹部骨折に対する MIPO の治療経験、第12回日本最小侵襲整形外科学会学術集会、2006.12.2-3、和歌山市
42. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、中尾慎一：腰椎手術患者の術後10年以上の長期成績～SF-36を用いたQOLの評価～、第35回日本脊椎脊髄病学会、2006.4、東京
43. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、遠藤 徹、中尾慎一：圧迫性頸髄症に対する脊柱管拡大術の前向き研究 観音開き式と片開き式の比較、第35回日本脊椎脊髄病学会、2006.4.21-22、東京
44. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、遠藤 徹：腰痛疾患の手術的治療に対する患者期待感 術前因子の検討、第35回日本脊椎脊髄病学会、2006.4.21-22、東京
45. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、延與良夫：圧迫性頸髄症に対する脊柱管拡大術の前向き研究 -観音開き式と片開き式の比較、第79回日本整形外科学会学術総会、2006.5.18-21、横浜
46. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一：頸部脊髄症に対する前方法と後方法の手術成績の検討、第35回日本脊椎脊髄病学会、2006.4、東京
47. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一：脊索腫に対する仙骨全摘後の再建術の工夫、第15回日本脊椎インストゥルメンテーション学会、2006.10、大阪
48. 谷端友紀、築瀬能三、中根康博、山口耕史、吉田宗人、岩崎一夫、佐々木俊二：二期的人工膝関節置換術を行った真菌性膝関節炎の2症例、第31回日本膝関節学会、2006.6.8-10、沖縄
49. 北野岳史、谷口泰徳、峠 康、吉田宗人、武用泰輔：多発性骨髄腫に合併した amyloidoma による後骨間神経麻痺の一例、第18回日本肘関節学会、2006.1.27、名古屋
50. 北野岳史、谷口泰徳、大浦晴夫、南 晋司、吉田宗人：血管柄付き腓骨頭移植を行った橈骨遠位部骨肉腫の1例、第49回日本形成外科学会、2006.4.12、岡山
51. 石神修大、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、吉田宗人：環軸椎後方固定術での Mesh plate の使用経験、第15回日本脊椎インストゥルメンテーション学会、2006.10.26-27、大阪

d) 地方学会

1. 岡安 勤、下藪英史、阪中淳也、松崎交作、中谷如希：右股関節脱臼に対し軟部組織吻合術と右 Barr 変法を行なった瘻性四肢麻痺の一例、第38回近畿小児整形外科懇話会、2006.8、
2. 谷口泰徳、北野岳史、大宝英矢、青木 克、吉田宗人：医原性末梢神経損傷例の検討、第107回中部日本整形災害外科学会、2006.10.7、神戸
3. 安藤宗治、延與良夫、岡田基宏、川上 守、吉田宗人：腰椎椎間孔部狭窄症の診断における検査法の比較検討—感覚神経活動電位とMRIを用いた前向き研究—、第106回中部日本整形外科災害外科学会、2005.4、大阪
4. 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人：矢状面バランスから見た腰椎変性すべり症の手術成績 LASD と固定椎上位終板傾斜角との関係、第106回中部日本整形外科災害外科学会、2006.4.7-8、大阪
5. 松本卓二、川上 守、安藤宗治、吉田宗人：ドクターヘリにて院外心肺停止状態から救命し得た特殊な幼児頸髄損傷の1例、第106回中部日本整形外科災害外科学会、2006.4.7-8、大阪
6. 南出晃人、吉田宗人、麻殖生和博、河合将紀、野村和教：頸部神経根症に対する頸椎後方侵入内視鏡下椎間孔拡大術の手術成績、第106

回中部日本整形外科災害外科学会, 2006.4.7-8, 大阪

7. 南出晃人、吉田宗人、川上 守、岡田基宏、延與良夫、遠藤 徹: 腰椎変性すべり症に対する除圧術後の不安定性増強に及ぼす側方すべりの影響 -内視鏡下手術と従来法の比較, 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会, 2006.10.6-7, 神戸
8. 中川幸洋、吉田宗人、麻殖生和博、南出晃人、河合将紀、仲井間憲彦: 腰仙部神経根奇形に対する後方脊椎内視鏡下手術, 第 107 回 中部整形外科災害外科学会 2006.10.6-7 神戸市
9. 下菌英史、川端秀彦、北野元裕、田村太資、和田麻由子、吉田清志: 二分脊椎に伴う足部変形に対しレイリザロフ創外固定器を用いて矯正を行った 1 症例, 第 37 回近畿小児整形外科懇話会, 2006.1.28, 大阪
10. 下菌英史、川端秀彦、田村太資、和田麻由子、吉田清志、北野元裕、沖本俊明: 小指中節骨に発生した類骨骨腫の 1 例, 第 38 回近畿小児整形外科懇話会, 2006.8.5, 大阪
11. 河合将紀、吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博、橋爪 洋、中尾慎一、遠藤 徹: 内視鏡下分離部神経根除圧術, 第 107 回中部整災, 2006.10.6-7, 神戸
12. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、南出晃人、中川幸洋: 高度変性側彎を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術, 中部整形災害外科学会, 2006.4, 大阪市
13. 麻殖生和博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋: 腰椎変性側彎症に対する内視鏡下除圧術, 第 107 回中部整形災害外科学会, 2006.10, 神戸市
14. 高見正成、佐々木俊二、山田 宏、坂田亮介、本田高幹、松本朋子、北野陽二、窪田誠治: 椎間孔部から硬膜管背側及び脊柱管外へ脱出した巨大腰椎椎間板ヘルニアの 1 例, 和歌山県整形外科医会, 2006.3.5, 和歌山市
15. 宮崎展行、川上 守、田畑 孝: 骨端線閉鎖前下腿骨幹部骨折に対する MIPO 法の治療経験, 第 106 回中部日本整形外科・災害外科学会, 2006.4.7-8, 大阪市
16. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、中尾慎一: 腰椎手術患者の術後 10 年以上の長期成績～SF-36 を用いた QOL の評価～, 第 106 回中部日本整形外科災害外科学術集会, 2006.4, 大阪市
17. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、中尾慎一: 骨粗鬆症性脊椎骨折後偽関節、遅発性麻痺に対する手術成績 ～前方除圧固定術と後方除圧固定術の比較検討～, 第 107 回中部日本整形外科災害外科学術集会, 2006.4, 神戸
18. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、延與良夫、遠藤 徹: 感覚神経活動電位の測定が診断に有用であった腰椎椎間孔部狭窄症の 1 例, 第 16 回和歌山県整形外科医会, 2006.3.5, 和歌山市
19. 岡田基宏、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋: 内視鏡以外の MIS (脊椎) 腰椎後方除圧手術時の傍脊柱筋切離に関する臨床的研究, 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会, 2006.10.6-7, 神戸
20. 阪中淳也、江川弘光、毛保浩明、中村正亨: 大腿骨骨幹部骨折の髓内釘手術後に頸部骨折を生じた 1 例, 第 16 回和歌山県整形外科医会, 2006.3.5, 和歌山市
21. 舟津稔博、西山大介、林 未統、西 秀人、筒井俊二、橋爪 洋: 大腿骨頸部外側骨折術後転倒による大腿骨遠位部骨折の検討, 第 74 回和歌山医学会, 2006.7.2, 御坊市
22. 舟津稔博、林 未統、西 秀人、筒井俊二、西山大介: 内側環状半月板の 1 例, 第 16 回和歌山県整形外科医会, 2006.3.5, 和歌山市
23. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人: 後頭骨から上位胸椎後方固定術後、約 10 年経過したアトローゼ型脳性麻痺に伴う頸髓症 2 症例, 第 106 回中部日本整形外科・災害外科学会, 2006.4, 大阪
24. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋: 再手術を行った腰部脊柱管狭窄症の成績不良例の検討, 第 107 回中部日本整形外科・災害外科学会, 2006.10, 神戸
25. 遠藤 徹、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋、麻殖生和博、延與良夫、岡田基宏、中尾慎一: 脊索腫に対する仙骨全摘後の再建術の工夫, 第 409 回京阪神集談会, 2006.3, 大阪
26. 中尾慎一、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人: 最近経験した腰部脊柱管狭窄症術後に椎間板ヘルニアを生じた 4 例, 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会, 2006.10.6-7, 神戸
27. 大宝英矢、山口耕史、中谷如希、吉田宗人: Ehlers-Danlos 症候群への人工膝関節置換術の治療経験, 第 74 回和歌山医学会, 2006.7.2, 御坊

市

28. 谷端友紀、築瀬能三、中根康博、山口耕史、吉田宗人、岩崎一夫、角谷昭一：真菌性膝関節炎に対して人工膝関節置換術を行なった1例、第74回和歌山医学会総会、2006.7.2、御坊市
29. 岩田勝栄、長雄好昭、林 信宏、武用泰輔、長田圭司：両膝化膿性関節炎の1例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市
30. 岩田勝栄、石口 明、山田 宏：下垂足を呈し腰部神経根障害と鑑別困難だったChurg-Strauss症候群の1例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
31. 本田高幹、松崎交作、木下裕文、南 晋司、山崎 悟、西山大介：成人型低アルカリフォスファターゼ血症の1例、第74回和歌山医学、御坊市
32. 綿貫匡則、松本卓二、石元優々、浜崎広洋、大浦晴夫：下肢静脈血栓症様の症状を呈した大腿骨幹骨腫の1例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
33. 金川建彦、松崎交作、南 晋司、山崎 悟、勝田紘史：両側脛直膝に対するTKRの1例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市
34. 谷口 亘、寺尾賢秀、栗本公博、岩 博、谷口隆哉、中村正亨：若年者の大腿骨骨幹部骨折の髓内釘手術後に頸部骨折を生じた一例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山
35. 中村正亨、江川弘光、毛保浩明、阪中淳也：右環指浅指屈筋腱皮下断裂の一例、第74回和歌山医学、御坊市
36. 北野岳史、谷口泰徳、岩田勝栄、吉田宗人、平野三好：陳旧性月状骨脱臼に対して月状骨摘出術を行った2例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山
37. 北野岳史、谷口泰徳、岩田勝栄、吉田宗人、平野三好：陳旧性月状骨脱臼に対して月状骨摘出術を行った2例、第106回中部整形災害外科学会、2006.4.7、大阪
38. 北野岳史、谷口泰徳、浅井宣樹、安井昌彰、瀧口 登、吉田宗人：腕立て伏せにより発症した肘部管症候群の1例、第3回運動機能障害フォーラムわかやま、2006.7.29、和歌山
39. 北野岳史、谷口泰徳、谷端友紀、岩田勝栄、吉田宗人：小児足背Run Over Injuryに対する遊離肩甲皮弁による治療経験、第107回中部整形災害外科学会、2006.10.7、神戸
40. 石元優々、浜崎広洋、西浦弘晃、綿貫匡則：膝PVSの一考察、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市
41. 石元優々、松本卓二、綿貫匡則、浜崎広洋、西浦弘晃：脊髄腫瘍の1例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
42. 勝田紘史、松崎交作、南 晋司、山崎 悟：膝関節固定術後のTwo incision THRの1例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市
43. 中谷匡登、木浦賀文、窪田誠治、直川裕樹、中道 仁、本田高幹：軽微な外傷で発症した、両側大腿骨骨幹部骨折の1例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市
44. 西山大介、西 秀人、筒井俊二、舟津稔博、林 未統：観血的整復固定術を要した胸鎖関節後方脱臼の一例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
45. 神埜聖治、中村 健、幸田 剣、佐々木緑、石田和也、神埜奈美、田島文博：頸椎牽引療法後に発症した小脳梗塞の一例、リハビリテーション医学会 近畿地方会、2006.2.18
46. 神埜聖治、中村 健、幸田 剣、佐々木緑、石田和也、山家弘雄、田島文博：頸椎牽引が頸部血流に及ぼす影響、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山
47. 寺下浩平、築瀬能三、中谷如希、中根康博、吉田宗人：肩関節脱臼を伴う、高度の転位をきたした肩甲骨関節窩骨折の一例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
48. 長田圭司、木岡雅彦、長雄好昭、保田賢展、林 信宏、岩田勝栄：当院における化膿性関節炎に対する治療成績、和歌山医学会、2006.7.2、御坊市
49. 福井大輔、江川弘光、毛保浩明、阪中淳也：r-nailによる骨接合術後に骨頭下骨折を生じた1例、第74回和歌山医学会、2006.7.2、御坊
50. 青木 克、谷端友紀、築瀬能三、谷口泰徳、吉田宗人：カルシウム結晶沈着により再発した手根管症候群の1例、第16回和歌山県整形外科医会、2006.3.5、和歌山市

51. 石神修大、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博、橋爪 洋、木岡雅彦：乾燥イカ菓子の多量摂取が原因と思われるサルモネラ化膿性脊椎炎の1例，第74回和歌山医学総会，2006.7.2，御坊市
52. 石神修大、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、橋爪 洋：軸椎歯突起骨折による環軸椎不安定症に対する mesh plate の使用経験，第107回中部日本整形外科学会，2006.10.6-7，神戸
53. 峯 牧子、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、南出晃人、延與良夫、岡田基宏、遠藤 徹、橋本忠晃、長田圭司：梨状筋症候群と診断された腰部神経根障害の2例，第74回和歌山医学総会，2006.7.2，御坊市
54. 峯 牧子、築瀬能三、中谷如希、山口耕史、青木 克、谷端友紀、大宝英矢、石神修大、吉田宗人、太田泰宏、北裏清剛：肩関節後方脱臼の1例，京阪神集談会，2006.11.18
55. 太田泰宏、谷口泰徳、中根康博、吉田宗人：外傷性肘関節強直に対する関節切除中間楔挿入術による治療，第16回和歌山県整形外科医会，2006.3.5，和歌山市

e) その他の学会

1. 中川幸洋、吉田宗人、川上守、安藤宗治、南出晃人、麻殖生和博、延与良夫、岡田基弘、遠藤徹、中尾慎一：胸椎黄色靭帯骨化症手術の成績不良因子についての検討、厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業、平成 18 年度脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 第 X 回班会議 2006.11.11 東京
2. 宮崎展行：脊髄前角細胞におけるアデノシンの神経保護作用機序，第564回研究会討議会，2006.7.4

f) フォーラム

1. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過から見た治療法の選択 千葉県腰痛フォーラム2006，千葉市 2006.1
2. 築瀬能三、中根康博、谷端友紀、太田泰宏、吉田宗人：第3回和歌山最小侵襲整形外科（MIOS）フォーラム，腱板断裂に対する肩峰下除圧術（ASD）後に腱板修復術を要した1例，2006.1.14，和歌山
3. 山田 宏、筒井俊二、今江信治：大後頭孔拡大術の小経験，第20回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム，2006.3.11，田辺市
4. 山口耕史、大宝英矢、築瀬能三、中谷如希、南 晋司、谷端友紀、吉田宗人：人工股関節置換術の可動域に対するオフセット，脚延長の影響，第3回和歌山県骨関節靭帯フォーラム，2006.9.2，於 和歌山
5. 筒井俊二、林 未統、西 秀人、舟津稔博、西山大介、山田 宏：石灰沈着を伴う軸椎歯突起後方偽腫瘍の1例，和歌山脊椎フォーラム，2006.3，和歌山
6. 宮崎展行、川上 守、田畑 孝、堀川浩司：MIPO法を用いた骨端線閉鎖前下腿骨幹部骨折の2例，第3回和歌山最小侵襲整形外科（MIOS）フォーラム，2006.1.14，和歌山市
7. 高見正成：短距離走により発症し手術的治療を行った上前腸骨棘骨折の1例，第3回運動機能障害フォーラム，2006
8. 高見正成：腰椎疾患により下垂足を呈した患者への意識調査，第22回脊椎脊髄フォーラム，2006
9. 中根康博、築瀬能三、吉田宗人、岩崎一夫、岩崎正文、中村哲郎、角谷英樹、角谷昭一：鏡視下 Bankart 修復術の小経験，第3回和歌山最小侵襲整形外科（MIOS）フォーラム，2006.1.14，和歌山
10. 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、岡田基宏、遠藤 徹、中尾慎一：頸髄腫瘍に生じた下垂足の2例，第22回和歌山脊椎脊髄フォーラム，2006.12，和歌山市
11. 大宝英矢、谷口泰徳、下江隆司、塚田 誠、吉田宗人：内視鏡下手根管開放術により正中神経損傷をきたした症例、第3回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム、2006.1.14、和歌山
12. 谷口隆哉、寺尾賢秀、栗本公博、岩崎 博、谷口 亘、高見正成、中村正享：髄内釘による上腕骨近位端骨折の治療経験、第3回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム、2006.1.14、和歌山
13. 本田高幹、佐々木俊二、山田 宏、坂田亮介、高見正成、松本明子、北野陽二、土井順博：当科における MINI-TKA、第3回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム、2006.1.14、和歌山
14. 中村正享、江川弘光、毛保浩明、阪中淳也：指ブロックにおける、皮線皮下1回注入方の有用性、第3回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム、2006.1.14、和歌山

15. 長田圭司、橋爪 洋、舟津稔博、西 秀人、林 未統：下垂足の病態とその治療、脊椎脊髄フォーラム、2006.12.9

g) セミナー、研究会等

[セミナー]

1. 吉田宗人：ハツオセミナー「脊椎内視鏡「ライトレーンク」1」 第106回中部日本整形外科災害外科学会 大阪市 2006.4
2. 吉田宗人：後方脊椎内視鏡下手術 北京中医薬大学附属東直門医院骨科中心セミナー 中国北京市, 2006.4
3. 吉田宗人：腰部神経根障害の病態と内視鏡的アプローチ 第28回総合脊損センター夏期セミナー 福岡県 2006.7
4. 吉田宗人：ハツオセミナー「脊椎内視鏡セミナー」技術認定制度より見た安全に施行する脊髄内視鏡手術ポイント 第107回中部日本整形外科災害外科学会 神戸市 2006.10
5. 吉田宗人:教育講演「内視鏡下脊椎後方手術の現況と展望-1000例の経験から」手術(生体ブタ)九州大学病院内視鏡外科手術トレーニングセミナー 第2回鏡視下椎間板ヘルニア摘出術コース 福岡市 2006.10
6. 吉田宗人:内視鏡下脊椎後方手術の現況とpitfalls 第24回浜松整形外科セミナー 浜松市 2006.10
7. 吉田宗人:脊椎のminimal intervention surgery 第18回中之島リウマチセミナー 大阪市 2006.12
8. 川上 守：Unilateral Transaxillary Lumbar Interbody Fusion, TLIFセミナー 大阪, 2006.6.24, 大阪市
9. Kawakami M, Unilateral Transaxially Lumbar Interbody Fusion using minimally access technique, 大阪 Minimal Access Spinal Technologies セミナー, 2006.9.16, 大阪市
10. 中川幸洋：ハンズオンセミナー1 脊椎内視鏡後方手技ドライトレーニング,「技術認定制度より見た安全に施行する脊椎内視鏡手術のポイント」,第107回中部整形外科災害外科学会・学術集会,2006.10.6 神戸

[研究会]

1. 吉田宗人：内視鏡下脊椎後方手術の適応と展望 第10回鹿児島脊椎脊髄研究会 鹿児島市, 2006.5
2. 吉田宗人：内視鏡下脊椎後方手術の可能性 第15回近畿夏期研究会 淡路市 2006.8
3. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過からみた治療法の選択 Spinal Symposium in Tokyo 東京都 2006.9
4. 吉田宗人：腰部神経根障害の病態と内視鏡的アプローチ 第3回滋賀運動器フロンティア 大津市 2006.9
5. 谷口泰徳、北野岳史、岩田勝栄、平野三好、吉田宗人:舟状骨摘出術の治療成績,第23回中部日本手の外科研究会,2006.1.28,豊橋市
6. 安藤宗治、遠藤 徹、延與良夫、岡田基宏、麻殖生和博、南出晃人、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人、玉置哲也：腰椎椎間孔部狭窄症の診断における検査法の比較, 第28回脊髄機能診断研究会, 2006.2, 東京
7. 山田 宏、高見正成、筒井俊二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、中川幸洋、玉置哲也：頸髄症患者における末梢神経幹電気刺激による10秒テストの変化の特性について, 第28回脊髄機能診断研究会, 2006.2, 東京
8. 松本卓二、川上 守、吉田宗人、浜崎広洋、川崎貞夫、篠崎正博：脊髄損傷患者に対するプレホスピタルケアとしてのドクターヘリの有用性, 第7回 和歌山救急・災害医療研究会, 2006.9.3, 橋本市
9. 下菌英史：障害児療育における整形外科医の役割～脳性麻痺児に対する整形外科的アプローチ～, 和歌山療育研究会,2006.5.9, 和歌山
10. 宮崎展行、佐々木俊二、梁瀬能三、山崎 悟、園部秀樹、坂田亮介：膝関節炎症状を呈した脛骨近位部軟骨芽細胞腫の一例, 第18回関西関節鏡・膝研究会, 2006.3.4, 大阪市
11. 宮崎展行、中塚映政、園部秀樹、武田大輔、西 秀人、納田和博、阪中淳也、吉田宗人：脊髄前角細胞におけるアデノシン A₁ 受容体の神経保護作用, 第28回脊髄機能診断研究会, 2006.2.4, 東京

[講習会]

1. 吉田宗人:胸腔鏡手術,腹腔鏡手術,内視鏡視下後方椎間板手術 第4回日本整形外科学会 脊椎内視鏡下手術・技術講習会 静岡県 2006.3
2. 吉田宗人：内視鏡下ヘルニア摘出術(MED)の実際 日本脊椎脊髄病学会第4回脊椎脊髄病 講習会 東京都 2006.4
3. 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の病態と治療 日医生涯教育講座 田辺市 2006.6
4. 川上 守：労働災害に起因する腰痛の診断の治療の問題点, 和歌山県労働基準監督署講習会, 2006.5.24, 和歌山市
5. 川上 守：いわゆる鞭打ち損傷の治療成績と問題点, 和歌山県労働基準監督署講習会, 2006.5.24, 和歌山市
6. 中川幸洋: 第5回脊椎内視鏡下手術・技術講習会,2006.11.12 富士宮

h) その他

1. 吉田宗人：ラジオ「痛いの・痛いの・飛んでけ！」 和歌山放送 月1回放送
2. 吉田宗人：ビデオ収録「鏡視下脊椎(脊髄)手術」日本整形外科学会企画・監修 整形外科卒後教育研修用ビデオ 萬有製薬株式会社
3. 吉田宗人：ビデオ収録「腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊柱管狭窄症-診断と後方進入腰椎内視鏡 下手術の実際」第11回目で見る整形外科東京コロキウム 科研製薬株式会社
4. 川上 守：第33回 International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS)会議に参加して臨床整形外科41(11):1158-1159,2006.

研究費交付状況

1. 厚生労働省科難治性疾患克服研究事業 吉田宗人：脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班 分担研究者
2. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(C) 吉田宗人：パッチクランプによる脊髄前角細胞におけるアデノシン受容体の神経保護作用の研究
3. 平成18年度和歌山県立医科大学 特定研究助成(痛み・痒みの基礎と臨床—メカニズムから治療戦略へ) 吉田宗人、宮崎展行：カルシトニン遺伝子関連ペプチドによる脊髄後角におけるシナプス伝達制御機構の検討
4. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究(C) 橋爪 洋：腰部神経根性疼痛に対するシクロオキシゲナーゼ(COX)阻害剤の役割について